

会 議 録

| | | | | |
|------------------|-----|--|------|----|
| 会議の名称 | | 守谷市図書館協議会（令和6年度 第3回） | | |
| 開催日時 | | 令和6年10月24日（木） 開会：10時00分　閉会：11時40分 | | |
| 開催場所 | | 中央図書館　3階視聴覚室 | | |
| 事務局（担当課） | | 教育委員会　中央図書館 | | |
| 出席者 | 委　員 | 長谷川委員長、吉澤委員、赤堀委員、赤山委員、川畑委員、 藤平委員、堀越委員、広永委員 <div style="text-align: right;">（出席：8名）</div> | | |
| | その他 | | | |
| | 事務局 | 平塚館長、柳葉副館長 | | |
| 公開・非公開 の状況 | | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可の場合 はその理由 | | | | |
| 会 議 次 第 | | 1　開会 2　挨拶 3　協議内容 （1） 守谷中央図書館大規模改修工事基本設計概要（案）に対するパブリックコメントの結果について （2） 令和5年度図書館事業実績評価について （3） その他 4　閉会 | | |
| 確　定　年　月　日 | | 会　議　録　署　名 | | |
| 令和7年2月5日 | | 長　谷　川　登　代 | | |

1 開 会

柳葉副館長 8名の委員が出席、守谷市図書館協議会設置条例第6条第2項の規定により会議は成立。傍聴者はなし。

2 挨 拶 長谷川委員長

3 協 議

(1) 守谷中央図書館大規模改修工事基本設計概要(案)に対するパブリックコメントの結果について

長谷川委員長：協議(1) 守谷中央図書館大規模改修工事基本設計概要(案)に対するパブリックコメントの結果について、事務局から説明をお願いします。

—平塚館長から基本設計概要(案)に対するパブリックコメントの結果について、資料を基に説明—

吉澤委員：私には、小学生の子どもがいて、図書館は大好きであり、一緒に来館する機会が多いです。児童フロアでは声を出せるのでコミュニケーションが取りやすい場所になっていると思っています。一方で、現在の2階の大人のフロアに一緒にいるときは、静かにしなければいけないと思っています。改修後は、会話ができるなど、開放的な雰囲気になると今から楽しみにしています。

そこで、パブリックコメント実施結果の「寄せられた意見(13)」にある「図書館の存在理由は、実用な書物が備えられる機能であり～十分果てしているため改修の必要はない」という意見がありました。以前は、私も同じ意見でしたが、図書館協議会に出席し、市民アンケートやワークショップのいろんな意見を聞き、「そうではないな」と私は思うことができました。

赤山委員：13番目の意見は、否定的な文言があるが、評価している部分もある。「声を出していい図書館」という意見があるが、私は、2階や3階フロアは、音や声が響かないようにしてほしい。

赤堀委員：守谷中央図書館がこれからどうなるか気になります。新たな機能や具体的にどのように変わっていくのかをもう少し具体的に記載した方が良いのでは。

平塚館長：パブリックコメントの回答は、ある程度の形があるため、回答の仕方はご理解いただきたい。

広永委員：昨今の公共図書館は、飲食(カフェ)やいろんなサービスがあり、多様化が進んでいる。どのような図書館が良いのか、正直わからなくなっている。他の図書館サービスと比較ばかりされている。

私は、図書館は、常識的なことを守ることも重要ではないかと思う。

赤堀委員：時代とともにサービスが変化しているのは理解できるが、最近、

利用者を増加させるため、いろいろなことをやりすぎている。

川 畑 委 員：私は、館長に同意であり、個々の回答は、これで良いと思う。

4 番目の回答において、「再考します。」とは、どういうことか。

平 塚 館 長：意見を尊重し、実現可能か設計業者と協議し、改めて考えるということです。

広 永 委 員：新たにやっていくことは、実施しながら改善していく部分もあると思う。

平 塚 館 長：現時点では、常設的に壁面を使ってできそうだとするところだが、それができない場合、現在のようにパネル等を置いてということになると、休憩するスペースを狭めることになり、本来の目的を十分に実現しづらくなってしまう。マルチパーパスとフォーラムで展示内容によって住み分けを考えながらやっていけるように再考したいと考えます。大きな変更を伴うものではありません。

吉 澤 委 員：トイレについて、子どもの身長の高さに鍵があると勝手に鍵を開けてしまうで、安心して使えないということがある。上下 2 個ついているトイレも見たことがあります。

平 塚 館 長：今回の回答作成に当たって、改修の設計に伴うものは、設計事業者と情報共有ができており、今後ともご意見を踏まえ、検証していきます。

吉 澤 委 員：「資料をもっとほしい。」「リニューアル後の図書館事業に期待したい」との意見がある。また、高齢の方は、16 億～18 億もいない。今でも充分という意見があるが。

広 永 委 員：高齢の方は、守谷市の財政事情が心配ではないか。また今後、休館中の対応は、公民館の資料を回していく。初めてのことから 1 年間図書館の蔵書が動かなくて、公民館の図書だけ動かすのは、どうするのか。

平 塚 館 長：休館中の対応について 2 階・3 階の書庫の入れ替えも行い、開架と閉架の資料の入れ替えも行います。今回の対応は、建て替えではない改修が故に如何ともし難い部分があります。一定期間、一定数の図書館資料を動かさないことを理解していただけるよう周知していきたい。

広 永 委 員：休館中、利用ができない図書館の蔵書の資料検索をするとうなりますか。

平 塚 館 長：利用できない資料は、表示されないことになります。

長谷川委員長：協議（2）令和 5 年度図書館事業実績評価について、事務局から説明をお願いします。

—令和 5 年度図書館事業実績評価について、資料を基に説明—

川 畑 委 員：書籍消毒器の利用回数の表記は必要ですか。

平塚館長：導入した時点では、費用対効果を見るために記載していました。
必ず記載しなければならないという訳ではありません。

川畑委員：カスタマーハラスメント研修の実施とあるが、私は、図書館において、カス・ハラとはあまりそこまでの対応が必要ないと思います
が…。これまで起きた事案を教えてください。

平塚館長：自分の主張が通らないと、声を荒げ、罵声をあびせられることもある。また、できない旨を説明した際は、「言い方が悪い。言葉の選び方が適切ではない。」と怒り出す方がいるなどがありました。

(3) その他

第4回図書館協議会の日程について、令和7年2月5日（水）
時間は未定で開催予定と柳葉副館長から報告あり。

—特に意見なし—

4 閉会

柳葉副館長：それでは、以上をもちまして本日の図書館協議会を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。